

大野ダムができるまで

昭和18年(1943) 第1期ダム建設工事着工(由良川河水統制事業 軍需電力供給を目的)

昭和20年(1945) 工事中止(戦争による)

昭和24年(1949) 由良川洪水調節堰堤の再検討

昭和26年(1951) 予備調査開始(近畿地建大野出張所開設)

昭和28年(1953) 実施計画調査開始(近畿地建大野ダム工事事務所開設)

昭和31年(1956) 基本計画の作成(由良川総合開発計画事業)

一般補償交渉経過 昭和31年(1956)

第1回 (11月26日) ----- 基準額発表

第2回 (12月8日)

第3回 (12月14日)

第4回 (12月17日)

第5回 (12月18日)

第6回 (12月21日)

第7回 (12月22~24日)

第8回 (12月28日)

第9回 (12月30~31日) ----- 交渉妥結

補償物件の概数

- ◎ 農地 約70m²
- ◎ 山林 約100m²
- ◎ 宅地 約21,000m²
- ◎ その他 約1m²
- ◎ 移転世帯数 65世帯

ダム築造のようす

昭和32年11月(1957) 本体工事着手

昭和34年 (1959) 基本計画の公示

昭和36年 3月(1961) 本体工事完成

本体建設工事期間

3年4ヶ月

総工費

30億円



仮排水路へ転流完了 昭和33年5月末



仮設備工事に着手したダムサイト 昭和33年5月末



仮設備工事が着々と進むダムサイト右岸台地 昭和33年9月末



ダムサイトを下流から見る。すでに上流2次締切も完成、河床部の基礎掘削、コンソリデーショングラウトも実施中 昭和33年10月末



ダム本体Aブロック先行型で、昭和33年12月6日
ダム本体コンクリート打設始まる 昭和34年1月末



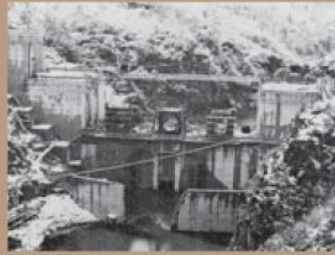
昭和34年8月13日 梅雨前線出水1,100m³/s
ダムサイトを襲う 昭和34年8月13日午前8時



昭和33年9月26~27日 台風15号
伊勢湾台風来襲 Q=1,800m³/s
昭和34年9月27日午前0時30分



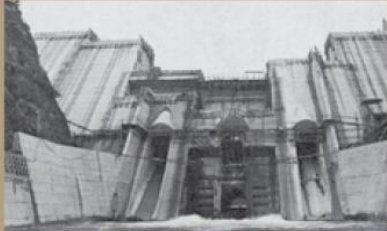
順調に打上げるダム本体、主放水管コンジットの下流端トランプ部分の掘削が始まる 昭和34年11月末



主放水管コンジット掘削開始、ダム本体コンクリート打設量100,000m³ 昭和35年1月末



主放水管コンジット掘削中 昭和35年2月末



日増しに高くなるダム本体、デフレクターも姿を現した 昭和35年6月末



コンジット前面の非常用コースターゲート組立始まる ダム本体コンクリート150,000m³ 昭和35年7月末



コースターゲートも組立られ、コンジット内部でも圧縮高圧ゲートの組立が行われている 昭和35年11月末



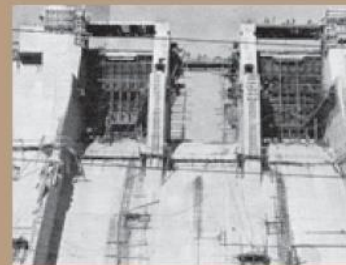
ダムサイト下流から見る右岸発電所クレーン・放水口も姿を現した 昭和36年1月末



ピアー頂部工事状況 昭和36年1月末



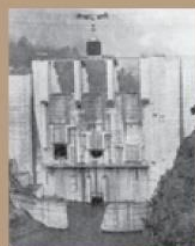
ダム打設天端工事進行中 昭和36年1月末



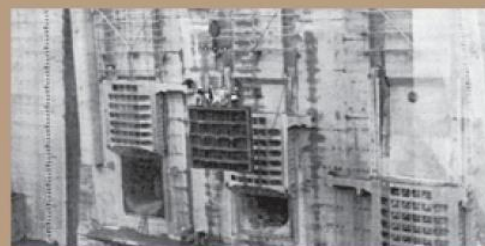
クレストゲート掘削開始 昭和36年2月末



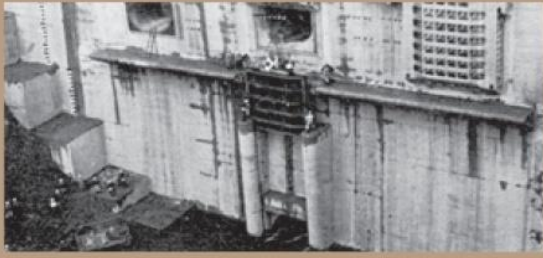
クレストゲート、コースターゲート捲上設備も完成 昭和36年3月末



灌水開始のゲートが所定の位置に運ばれる



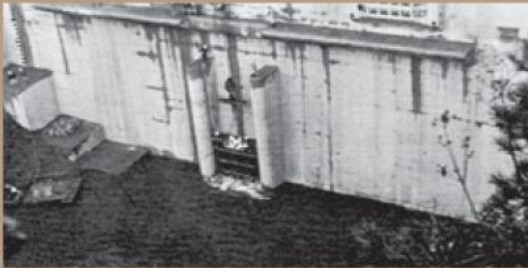
徐々に吊下げられるゲート、コンジット前面の非常用コースターゲートが見える



慎重に戸清へ



注目の内に閉塞が迫る



閉塞の瞬間



長年の苦勞が万歳の声となつてわき上がった